

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	日光市
共同提案者名	東京電力パワーグリッド株式会社栃木総支社、東武鉄道株式会社
選定回	第3回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	観光振興、公共交通維持確保
地域脱炭素の基盤創出	中核企業との連携
需要家・エリア設定	その他（国立自然公園）
創出する再エネの種類・導入技術等	水力発電、熱利用（温泉熱）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{19,476,642}{3,000,961} (\%) + \frac{3,047,918}{469,623} (\%) \right) \div 15,408,000 (\text{kWh/年}) = 22.5 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相対契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	73	280,000	9,943				9,943	1,548	12	
	その他	0	0					0	0		
民生・業務その他	オフィスビル	0	0					0	0		
	商業施設	68	1,434,000	58,018				58,018	88,459	97	
	宿泊施設	54	10,858,000			2,902,000		2,902,000	365,942	1,382	
	その他	0	0					0			
公共	公共施設	37	2,836,000			31,000		31,000	13,675	15	
	その他	0	0					0			
合計			15,408,000	67,961	0	2,933,000	0	3,000,961	469,623	1,506	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	0	0	58						58

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
25%	30%	70%	80%	90%	100%

2-1. 共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		35,907,713	31,868,652	20,832,996	30,834,236	48,459,246	10,000,000	10,000,000	10,000,000
	累計		35,907,713	67,776,365	88,609,361	119,443,597	167,902,844	177,902,844	187,902,844	197,902,844
実績	単年度		0	4,243,416	6,222,443					
	累計		0	4,243,416	10,465,859					

2-2. 個別KPIの進捗状況

■指標1：域内における宿泊客数の増加率（60%増）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		40%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
	累計		40%	45%	50%	55%	60%	65%	70%	75%
実績	単年度		48%	-3%	—					
	累計		48%	40%	—					

■指標2：繁忙期のいろは坂車両通過台数減少率（20%）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		—	▲5%	▲5%	▲5%	▲5%	▲4%	▲3%	▲3%
	累計		—	▲5%	▲10%	▲15%	▲20%	▲24%	▲27%	▲30%
実績	単年度		—	20%	—					
	累計		—	20%	—					

■指標3：飲食・物産店、及び宿泊施設の光熱費改善率

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		5%	12%	9%	7%	13%	5%	5%	5%
	累計		5%	17%	26%	33%	50%	55%	60%	65%
実績	単年度		0%	6%	15%					
	累計		0%	6%	21%					

実績詳細	<p>■共通KPI：令和7年度上半期に省エネ機器を中心に導入が進んでおり、昨年度より多額の域外へのエネルギー代金流出抑制額となっているが、再エネ設備の導入がわずかであり目標値の水準に至っていない。</p> <p>■個別KPI（指標1）（指標2）：指標1は年度末集計、指標2は調査結果集計中となっており現時点では未記載。</p> <p>■個別KPI（指標3）：飲食物産店及び宿泊施設で間接補助事業の認知が広がっており、補助を活用した高効率機器（空調：延べ21施設、給湯：21施設、照明：14施設）、太陽光発電設備（5施設）、蓄電池（4施設）、温泉熱利用機器（2施設）の導入が図られている。令和6年11月から2か月に1度発行する情報発信チラシにおいて、補助制度の概要や補助を活用した需要家の声を他の域内需要家に向けて継続的に周知しており、引き続き啓発・機運醸成活動を行うことで導入促進を図っていく。</p>
------	---

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

■自治体外への横展開

・先行地域間（さいたま市、小田原市、甲斐市、境港市、松江市、釜石市）で設備導入の課題や取組の進捗状況について情報交換・共有を行い、自地域での取組の参考とした。

・間接補助申請者の一時的な経費負担の軽減を図るものとして創設した「代理受領制度」に関する問い合わせを先行地域選定自治体（5件程度）から受けており、制度内容、創設意図等の説明を行っている。

・観光繁忙期における渋滞対策がマスコミ等を通じて発信されたことで、同様の取組が県内外に広がることが期待でき、観光客の意識の変容につながる。

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/1220741>「紅葉見頃の日光、3連休は年間最長の渋滞？ いろは坂、世界遺産「二社一寺」 迂回路やおすすめの時間帯は…（下野新聞）」

<https://www.fnn.jp/articles/-/951642>「紅葉の名所・日光“いろは坂”の大渋滞対策で県営明智平駐車場の閉鎖実施へ 緩和効果を検証（FNNプライムオンライン）」

<https://mainichi.jp/articles/20251107/k00/00m/040/365000c>「日光「いろは坂」駐車場閉鎖 渋滞緩和に一定の効果 100分短縮も（毎日新聞）」

■自治体内への横展開

・旧耐震基準の公共施設が多くある中で、フレキシブル軽量モジュールを活用した公共施設の再エネ設備の導入を進めている。

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

市の最上位計画である「第3次日光市総合計画（令和8年3月策定予定）」では、基本構想に掲げる「日光市の将来像」の中で2050年ゼロカーボンシティの実現掲げる予定であり、そのうちの前期基本計画において「脱炭素先行地域において創エネ・省エネ設備の導入を推進し、地域内でのゼロカーボンを目指す」こととしている。また、「第2次日光市市環境基本計画（令和元年12月策定）」で市域全体の再生可能エネルギー活用を促進するとともに、「日光市地球温暖化対策実行計画（令和元年12月策定、令和7年3月一部改訂）」における主な取組に位置づけ、取組の推進、実現を目指している。